

総合的な学習の時間の実践

遠軽町

総合的な学習
5～6年

町の温かさに気付こう！

宝さがし探検隊

～人は宝 ふるさとから学ぼう、気付こう～

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

人口の少ない町こそ地域のよさがたくさんあることを子どもたちに知ってもらいたくて実践したものです。そのために地域の人とたっぷりかかわって、人々のすばらしさを体感させました。もともとこの町は自然豊かで、共生・共存が実現している福祉のまちです。例えば、この町の秋祭りは町じゅうの人がふれあうことを目指して、祭の商品はすべて30円にしています。30円にすることで、たくさんの会話が生まれます。そんな地域の行事に子どもたちをかかわらせながら取り組んだ実践です。

学習活動の流れ（22時間）

みんなが入学の時にもらう、交通安全の手まりや、安国名物・30円のお祭りの謎。身近なところから、地域の人々の思いを知る、きっかけづくりをしました。

人とのかかわりをふんだんに取り入れ、その人のすばらしさをアピールさせました。地域の良さを意識させ、子どもたちそれぞれが「宝」の発見へとつながりました。

ランドセルについている手まりの意味は!?(2)

- ・わたしたちに伝えたいことがあったんだ！
- ・すばらしい人がいっぱいいるね

秋祭りについて調べよう(3)

- ・自分のためだけでなく、子どものためにやってくれていたんだ！
- ・他の人にも、いろいろ教えてもらいたいな

安国・生田原の人に教えてもらおう(8)

- ・誰に？何を？どうやって？
- ・「安国の宝」って、何だろう？

発表会をひらこう(8)

- ・「宝」から学んだこと
- ・「宝」が伝えたかったこと

安国の宝から学んだことは?(1)

北海道のやや北寄りにある小学校の実践です。総人口 700 人程度の小さな町ですが、地域の方の温かさにふれて、町のよさを感じることができます。地域の方に協力をいただきながら、活動を進めていきました。



安国のおまつり

教材・活動の Point!



1. 「生き方」に注目した「人」とのかかわり

調べるポイントは、地域の人々の取組や思い、生き方について学ぶということです。ですから、前年度、同じ人に同じことを聞いてきても、大丈夫！むしろ、「あの時、こんなことを教えてもらったけれど、どうして知っているのだろうか？」と追究していきたくになります。地域の人材は、フル活用できるものです。

2. 活動のきっかけは、身近なものの謎！

「やってみたい」と活動意欲を刺激するためには、きっかけづくりが重要です。ランドセルにみんながつけている「手まり」、大好きな「秋祭り」の謎から活動をスタートさせることで、その後の活動の意欲が変わってきます。『子どもにとって、身近で興味のあるもの』をいかに活用していくかが大切です。



3. 特別に支援を必要とする子への配慮

特別支援学級に所属・通級する児童には、ほんの少し配慮してあげるだけで、みんなと一緒に生き生きと活動することができるのが、総合的な学習の良いところです。目標・評価規準・支援などを2本立てにしたり、視覚的に理解できるよう、写真や絵を多く取り入れたりすれば意欲的に活動できるものです。

